

年度評価シート

課名 歴史文化課

施設の名称 静岡市歴史博物館	指定管理者名 公益財団法人静岡市文化振興財団				
1 履行状況					
(1) 目標達成 ア 博物館利用者数 目標値 160,400 人、実績値 201,384 人（前年度 189,243 人） 達成率 125.6%（前年度比 106.4%） イ 利用者満足度 目標値 80%、実績値 96.0%（前年度 91.7%）、達成率 120.0%（前年度比 104.6%） ウ 資料調査・研究、論文等の公表及び外部との共同研究 （ア）資料調査・研究 目標値 60 件、実績値 98 件、達成率 163.3% （イ）論文等の公表 目標値 11 件、実績値 18 件、達成率 163.6% （ウ）外部との共同研究 目標値 5 件、実績値 9 件、達成率 180.0% エ 教育・普及実施者数 目標値 26,200 人、実績値 25,361 人、達成率 96.8% (2) 施設利用状況 ア 稼働率 講座室稼働率 78.2%（年間 241 日使用） (3) 人員配置状況 館長（非正規）1 人、正規職員 17 人（うち市派遣職員 2 人）、契約職員 1 人 (4) 業務実施状況 静岡市歴史博物館条例第 3 条に規定する各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 主な事業と参加者数は以下のとおり。 【仕様書指定の事業に係る運営業務】 ア 「歴史探求」に係る運営業務 （ア）展示業務 a 基本展示 4 月 1 日（火）～3 月 31 日（火） 308 日間（休館日を除く） 観覧者数 45,014 人（目標 43,000 人 達成率 104.7%） b 企画展示 実施回数 4 回（目標：年 4 回以上）					
企画展示名	日数	観覧者数	目標	達成率	1 日あたり平均
企画展示 「明治維新と静岡 徳川慶喜、家達と旧	39 日間	5,700 人	6,300 人	90.5%	146.2 人

幕臣たち」4/26（土）～6/8（日）					
地域学習展示 「十返舎一九と蔦屋重三郎」 7/5（土）～8/24（日）	45 日間	8,204 人	6,700 人	122.4%	182.3 人
企画展示 「しずおかの古仏たち」 10/25（土）～12/7（日）	41 日間	7,750 人	7,800 人	99.4%	189.0 人
特集展示 「田安德川家史料寄託記念 徳川御三卿 田安德川家」1/24(土)～3/8(日)	40 日間	5,970 人	4,200 人	142.1%	149.3 人

(イ) 資料調査及び研究

a 資料調査

年間 98 件の調査実施

b 家康公研究室の運営管理

(a) 家康公研究室の活用と研究成果の発表

利用者登録実績 年間 61 人 閲覧利用 年間 136 人

(b) 研究成果の発信

共同研究・報告会実施回数：9 回 参加者 215 人

研究紀要の発行、論文掲載件数 18 件

(ウ) 資料の収集・保存・管理

収蔵資料を適切に管理するとともに、新規収集資料の清掃・燻蒸・環境調査を行った。

収蔵品管理システムの登録・公開状況

歴史資料 325 件、図書 3,724 件、解説アプリ 36 件

新規収集資料 37 件

イ 「地域学習」に係る運營業務

(ア) 学習支援事業

a 市民団体との連携・協働による博物館事業

パネルによる活動紹介 4 団体 8 回

団体事業の支援 11 件 参加者 349 人

団体研修の支援 11 件 参加者 588 人

b ボランティアの育成、活動支援

令和 7 年度ボランティア登録者：68 人

活動日数：308 日 年間活動数延べ 1,271 人

1 日あたりのボランティア活動人数 4.1 人

ボランティア説明会・研修会 10 回 参加者 144 人

c 高校・大学連携

学校団体活動支援 3 回 参加者 26 人

d 出前講座

年間 27 回実施 参加者 903 人

(イ) 教育普及事業

事業名	実施実績	参加者数
企画展関連講演会	4 回	755 人
企画展関連トーク	12 回	1,226 人
企画展関連イベント「仏像実演彫り実演」	1 回	60 人
館長講演会「館長の歴史がたり」	3 回	247 人
静岡市歴史博物館開館 3 周年記念講演会	1 回	252 人
「戦国時代末期の道と石垣の遺構」解説	581 回	4,610 人
展示室ギャラリートーク	50 回	659 人
解説、講座等のコンテンツ配信	1 回	—
古文書講座 初級者編	12 回	277 人
古文書講座 中級者編	3 回	68 人
寺子屋駿府城	3 回	42 人
駿府城公園歴史カフェ	9 回	251 人
バックヤードツアー	3 回	54 人
こども博物館	15 回	532 人
歴史地域の映像放映	9 テーマ	—
学校見学の受入れ・解説	105 校	5,683 人
学校へ出張授業	6 校	466 人
学校教育に関するカリキュラム開発（2 校）	17 回	935 人
学生・生徒からの相談対応	4 回	22 人
教員研修支援	4 回	251 人
職場体験の受入れ	9 回	21 人
博物館実習の受入れ	1 回	30 人
学校団体パネル展	2 回	—

ウ 「観光交流」に係る運營業務

(ア) 観光交流事業

a 歴史観光情報発信事業

歴史観光案内コンシェルジュによる案内日数 116 日 案内者 3,033 人

b 観光ガイド団体への支援事業

観光ガイド団体や旅行業者を対象に、展示解説や講座、実地体験等を通し、地域の歴史・文化の理解深化と案内力向上を目的とした人材育成事業を実施した。（全 62 回 参加 371 人）

c しずれきガイドツアー

案内コース：6 種類

192 回実施 参加者 656 人

- d 学芸員による歴史ガイドツアー（企画展に関連した現地のガイドツアー）

9 回実施 参加者 185 人

- e 地域連携による歴史観光活性化事業

- ・スタンプラリー事業 参加 1,415 人
- ・静岡・釜山新朝鮮通信使友好事業 参加 28 人

（イ）にぎわい創出事業

事業名	実施回数	参加者数
わかりやすい歴史、地域のおはなし※	35 回	2,616 人
学芸員マニアックトーク※	11 回	743 人
体験ワークショップ※	49 回	2,100 人
博物館にぎわい広場	52 回	6,430 人
ナイトミュージアム	23 回	—

※教育普及事業としても実施

エ 施設維持管理業務

施設管理業務について、施設内設備の管理等他 4 件を自主点検により実施し、清掃業務等他 26 件の管理業務を第三者委託等により実施した。また、修繕を 28 件実施した。

（5）指定管理者の努力・創意工夫が見られた点

ア. 企画展を中核とした関連事業の実施

企画展と連動する講演会や館内トーク、イベント等を体系的に組み合わせ、効果的に事業を展開した。また、専門性の高い内容を、学芸員マニアックトークや歴史ガイドツアー等親しみやすい形でわかりやすく利用者に提供した。

イ. 自主事業による収蔵品デジタルアーカイブの作成

改正博物館法にも示される博物館収蔵品のデジタルアーカイブ作成について、文化庁補助金事業の採択を受け自主事業として取り組み、館収蔵資料の画像公開を促進した。

ウ. 情報発信

遺構でのコンサート実施により、新たな博物館施設の活用手法の提示と来館機会の拡大を実現した。また、文化庁公募による専門家派遣事業を積極的に活用し、SNS の特性を踏まえたコンテンツデザイン等実践的なスキル向上に努め、アクセス数の増加につなげた。

エ. 他機関との連携

静岡学園歴史研究部の研究発表支援や常葉大学との連携による地域課題解決型事業の展開をととして、教育機関との協働を実現した。また、静岡浅間神社や県内研究団体との共同研究成果を展示や講座に反映することで事業の質向上に努めた。

【検証・分析等】

利用者数及び利用者満足度は目標値及び昨年度の実績を上回る結果を残しており、施設運営全般においては概ね良好である。来館者増の背景として、SNS の発信力強化や企画展を主軸においた関連イベント等の体系的な実施、ユニークベニューとしての博物館施設の活用など、これまでとは異なる層への価値発信や来館機会の拡大を図る工夫や事業者の努力がうかがえる。歴史探求

や地域学習の側面からも、専門性の高い内容を講座やイベントという親しみやすくわかりやすい形で利用者に提供するなど、歴史の理解促進と満足度の向上に寄与した。

また、調査研究や教育普及事業についても一定の成果が見られ、博物館の基礎的機能は適切に発揮されていることに加えて、自主事業として積極的に外部補助金を活用し、専門人材派遣による広報力の向上や、収蔵資料のデジタルアーカイブ作成に努めるなど、よりよい博物館運営に尽力している。

一方で、展示室への誘導や市内利用者の定着などについて、今後の課題として整理する必要がある事項もみられるため、引き続き博物館の役割を意識した運営を基盤に、利用者満足度の維持、向上と、発信力の強化に期待する。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応等）

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

ア 施設・設備に関するご意見

主な意見 ・冷暖房について、季節によって寒さ・暑さを感じる。

・順路や館内構造がわかりにくい。

対応 ・資料保存の観点から大幅な温度変更は難しいため、季節に応じた館内温度の微調整を行った。

・スタッフによる口頭案内の強化に加え、矢印表示や案内掲示の見直しを実施した。

主な意見 ・展示室内や館内に休憩用の椅子が少ない

対応 ・ロッカー室への荷物台用椅子の設置

・展示室内へのスツール設置（令和8年3月）など、段階的に休憩環境を改善

イ 展示内容に関するご意見

主な意見 ・古文書の現代語訳や内容解説をさらに充実させてほしい

対応 ・要約文や大意を示す解説表示を追加するなど、理解を助ける工夫を実施

主な意見 ・展示ルートや鑑賞順が分かりにくい

対応 ・館内ガイドへのモデルルート掲載

・案内表示の見直しについて継続して検討を行っている

ウ スタッフ対応に関するご意見

主な意見 ・職員・ボランティアの対応が丁寧で親切だった

・説明が分かりやすく、質問しやすい雰囲気だった

・鉛筆やバインダーの貸出など、学習を支える配慮が良かった

・ボランティアガイドの解説が興味深く、満足度が高かった

主な意見 ・職員との距離が近く、落ち着いて鑑賞しづらいと感じた

対応 ・接遇や声掛けに関する内容を職員間で共有し、過度な接近や一方的な説明にならないよう意識付けを行っている

・鑑賞環境をより落ち着いたものとするため、団体来館時の配慮や館内での

マナー周知について検討を進めている

【検証・分析等】

利用者からの意見・要望に対しては概ね適切な対応がとられており、即時の対応が困難である要望に対しても前向きに検討しており、良好な対応がなされているといえる。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

（１）利用者満足度調査

博物館来館者を対象に、紙及びWEBにより、満足度に関するアンケート調査を実施した。

【調査結果】

回答者総数：4,045人

満足度（各設問で「良かった」「まあ良かった」と回答した人の割合の平均）96.0%（前年度91.7%）

内訳	回答総数	無回答	満足回答	満足度※
職員の対応	4,045件	51件	3,912件	97.9%
館内の過ごしやすさ	4,045件	72件	3,852件	96.9%
案内の見やすさ	4,045件	75件	3,746件	94.3%
解説のわかりやすさ	4,045件	82件	3,752件	94.6%

※満足度＝満足回答÷（回答総数－無回答）

【検証・分析等】

4項目の平均値で算出した満足度は96.0%（前年度91.7%）であり、目標値である満足度80%を大きく超えたことは高く評価できる。休憩用椅子の設置や館内温度の調整など来館者の声を参考にニーズに応じた環境改善を実施するなど、来館者に寄り添った運営ができたことが要因だと考えられる。すべての項目が高い水準であり、良好な評価を得ている。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

（２）市民アンケート

市内在住の18歳以上の3,000人を無作為に抽出した静岡市市民意識調査において静岡市歴史博物館の認知度について調査を実施。

【調査結果】

回答者総数：1,576人、当該施設を知っていると回答した人：1,098人

「知っているが行ったことがない」51.9%

「知らない」25.3%

「行ったことがある」17.8%

【検証・分析等】

認知度としては、69.7%であるが、その多くは「行ったことがない」と回答していることから、引き続き事業内容の広報だけでなく、市民が気軽に参加できるイベントや講座の実施をとおして来館機会の増加を図ってほしい。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

（３）その他の調査

ー：未実施

4 指定管理者の経理（収支）状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

指定管理業務の収支状況について、光熱費が当初の想定よりも高騰したため、協定書及び仕様書の規定に基づき実績額との差異について精算（上乘せ）を行った。

支出について、デジタルアーカイブ作成事業や広報事業など外部資金を獲得し、自主的により良い事業運営に取り組んでいる点は評価できる。今後は、執行残である予算額と実績額の差異分を来館者の増加や満足度の更なる向上に寄与する事業強化に期待したい。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況等）

事務事故発生の有無	有
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	有

《事務事業事故》

来館者の希望の種別とは異なる展示観覧券の料金を請求してキャッシュレス決済処理を行い、希望より多く収入した事故が1件、駿府城3施設観覧券希望の来館者に対し、キャッシュレス決済処理を行った結果、本来駿府城3施設観覧券収入を駿府城3施設指定管理者の収入として処理するところ、誤って市収入とした事故が3件発生している。

【応急対策】

スタッフ研修で研修参加者に対して周知と注意喚起を行った。また、事務室内での日々の売上締め作業の時に、キャッシュレス決済の内訳に駿府城3施設共通券の取引が含まれていないか確認するようにした。

【恒久対策】

券種により決済の種類（『現金』か『キャッシュレス』か）を設定でき、かつ、フルセルフレジ機能（すべて観覧者が処理）とセルフレジ機能（一部職員がサポート）を場合に依り切り替えられるレジを、指定管理者が費用負担する形で導入することとした。

【検証・分析等】

指定管理業務全般について、業務仕様書や事業計画書に従い適切に実施されている。
施設維持管理について、来館者が安心して利用できるよう、法定点検・日常点検・定期点検を徹底し、必要に応じて修繕等の対応をし、施設の安全な維持管理に努めている。令和7年度は前年度よりも多くの入館者数を獲得することができており、指定管理者による良好な施設運営がなされてきたことがうかがえる。

アンケート調査・要望に対する対応について、高い水準を維持しつつ、要望があれば迅速に対応しており、良好な施設運営がされていることがうかがえる。

事業実施について、仕様書における事業を計画回数以上実施し、事業に創意工夫をするなど、

積極的な姿勢が来館者目標の達成に寄与したと評価できる。展示観覧者増に向けての取組に期待する。

事務事業事故が複数件発生している点は課題である。窓口での業務が煩雑ではあるが、職員によるダブルチェックを徹底するよう留意されたい。

今後も様々な団体との連携を促進するとともに広報を強化し、継続的な入館者数の確保につなげてほしい。

○：良好な管理運営であった。